

事業所名

チェリッシュ

支援プログラム

作成日

2026年

3月

1日

法人（事業所）理念		人に対する信頼と尊重を基本に心のこもった安全・安心な支援・介護を実践する					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様とご家族のニーズを大切に楽しく安全に過ごせるセカンドハウスのような支援に取り組む。 ・個別支援計画を基に相談支援事業所や医療機関・福祉機関との連携を図り、看護師による安全な体調管理を実施します。 ・リハビリでの機能訓練、支援員による日常生活全般の支援、様々なレクリエーションを計画し利用者様とご家族が笑顔で利用できるように努めます。 					
営業時間		10時	30分から	19時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	ご家族や学校からの申し送り、日々のバイタルチェックやモニターの数値、入浴の際での全身状態チェック等細やかな観察をすることで小さな異変に気づき、その日の過ごし方を見極め、生活リズムを整えられるよう支援する 利用者が心身ともにリラックスして過ごせるよう、楽しくやわらかい雰囲気的环境づくりを提供する。 その日の体調に合わせて、自宅で行なっている看護ケアやリハビリを行なう。					
	運動・感覚	感覚に働きかける遊びや活動を通して好き・苦手を見出し、様々な経験を積み重ね、心身の成長・発達を促していく。 ストレッチやマッサージの時間を設けて身体をリラックスさせ、個々の特性に応じたポジショニングを行ない、その時に最適な姿勢で過ごせるように配慮する。 ご家族・他関係機関とも連携し（地域連携とも関連）、側弯予防や拘縮予防・バギーの調整等行なっていく。					
	認知・行動	遊びや活動を通して、物や空間・時間等の形成を図ることで、認知や行動の手掛かりとして活動できるよう支援する。 発達段階にあわせて形や顔、色、物への理解に繋がれるように遊びや関わりを通して支援していく。 空間・時間等の理解を進め、次のスケジュールを決めていけるように支援する。					
	言語 コミュニケーション	声や視線・様々な表情・動きなどのサインが表出できるよう関わり、想いを汲み取れるよう支援する。（指差し、発語、ボディサイン、文字、手を叩くなど） また、その表出方法をスタッフ・ご家族と共有し本人の思いや感情を見逃さないよう支援する。 発達段階にあわせた読み書きの支援をする。集団の中で、順番の譲り合い等経験し支援する。					
	人間関係 社会性	他利用者やスタッフ・外出先での色々な人とふれあいや関わりを通し「他者」や「様々な場所」を意識づけられるよう支援する。 他利用者やスタッフとたくさんふれあい、声掛けを続けることで信頼関係が作れるよう支援する。					
家族支援		ご家族と話し合う機会をもって報告や相談、助言等ができるようにする。 日頃から想いや悩みをお聞きする機会を設け信頼関係を築けるようにする。			移行支援		進級や進学に向けて相談員や学校の先生・看護師との連携(情報交換・共有等)を行う。 生活介護移行前に関係機関との連携を行なう。
地域支援・地域連携		地域との交流や関係機関との連携を図り、利用者のことを知ってもらうよう働きかける。 必要に応じて情報共有を行なう。			職員の質の向上		スタッフの内部・外部の研修会の参加（外部研修の場合は研修後みんなにアウトプット） 定期的なミーティングを設け、情報共有や改善点等の検討する。
主な行事等		入浴・創作活動（カレンダー制作、お絵かき、工作等）・散歩・アロママッサージ・ドライブ・プール遊び・季節にあわせて行事・地域の行事参加・避難訓練等					